

令和 5 年 8 月 10 日

令和 4 年度 特別の教育課程の実施状況等について

岐阜 都・道・府・市		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
富加町立富加小学校	富加町教育委員会	国・公・私

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の公表 URL
富加町立富加小学校	www.town.tomika.gifu.jp/

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL 等
富加町立富加小学校	www.town.tomika.gifu.jp/	www.town.tomika.gifu.jp/
	www.tomika-es.tomika.gifu.jp/	www.tomika-es.tomika.gifu.jp/

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

○計画通り実施できている

・一部、計画通り実施できていない

・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

計画通りの時間数を実施したが、計画の中に新型コロナウイルスの感染症対策との両立が難しい活動があったため、感染リスクが高い学習活動は変更する等した。徐々に学習活動を再開したが、一部において計画通りに実施することができなかった。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

○実施している

・実施していない

<特記事項>

学校ホームページ等を活用して、取り組みの様子を保護者や地域に知らせている。

4. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

富加町の園・学校数は、小学校1校、こども園1園である。町内のほとんどの園児がとみかこども園に通っている。生活科や保育活動で小学生と園児とが交流したり、お互いの施設を訪問したりして、教育活動・保育活動の計画で連携している。その中で、小学校のALTが、こども園での英語に親しむ活動の講師も務めており、幼児期から切れ目なく外国語に親しむことができるように計画している。

小学校においては、3年生で外国語活動が始まるまでの1、2年生の期間も、教育課程の特例を受け、切れ目なく外国語に慣れ親しむ活動を続けコミュニケーション能力を養っている。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

令和4年度1年生から6年生までの保護者、教職員対象に、外国語活動についてのアンケートを行い、下記のような結果であった。

【保護者アンケート（単位：％）】

1：していない 2：どちらかというとしていない 3：どちらかというとしている 4：している

	質 問	3・4の割合
Q1	お子さんは、英語科・外国語活動を楽しみにしていますか。	72.9

1：していない 2：どちらかというとしていない 3：どちらかというとしている 4：している

	質 問	3・4の割合
Q2	お子さんは、日常生活の中で、英語科・外国語活動で学んだことを使おうとしていますか。	61.0

令和2年度から学校評価の一部に外国語に関する教育活動についての評価項目を取り入れた。今後も続け、経年比較の成果と課題を行っていく。

令和4年度の結果から分かることとして、「外国語活動を楽しみにしている」についてのポイントが高く、「日常の生活の中で学んだことを生かそうとする意識」がやや低くなっている。外国人住民や外国人児童生徒が身近に少なく、学んだ言語を日常生活の中で話すことは少ないという捉えだと推察される。しかし、外国語活動で学んでいるのは言語のみでなく、各国の言語・文化・風習等について学び、それぞれの国の特徴やよさ、各々の国が独自性をもっていることのよさについて考えることを通して、豊かな人間性や人権感覚等をも養っている。そのような学びが学校生活や総合的な学習で生かせるように見直し等を行い、今年度以降の指導の改善に役立てていきたい。

また、令和3年度の結果と比較すると、どちらも楽しいと感じている割合が下がっている。(Q1は－10.1, Q2は－6.2) これは、新型コロナウイルス感染症対策と

して制限されていた「声に出す学習活動」を再開したことによる抵抗感やとまどいが、特に高学年に多く見られたことによる低下であると推察される。しかし、外国語活動では、正しい言語を身につけること以上に人との関わりやコミュニケーション能力が重要である。指導改善を試み、学校教育目標である「美しい心を持ち 自ら考え たくましくやりぬく子」をめざしていく。

5. 課題の改善のための取組の方向性

4に示すような課題を踏まえて、令和5年度まで継続する方向で本特例の改善を図ることが必要であると考ええる。

改善のための取り組みの方向として、県の第3次教育ビジョンに基づき推進する施策の「ふるさと岐阜、ふるさと富加」を学ぶふるさと教育の充実を図る中で、外国語活動・外国語科で学んだことを生かして、ぎふへの愛着をもち世界に視野を広げ活躍する人材の育成をめざすことができると考える。また、令和5年度は、声に出す学習や交流活動を繰り返すことで、人と関わる力やコミュニケーション能力の育成を図り、自信をもって活動できるような授業改善を行っていく必要があると考える。